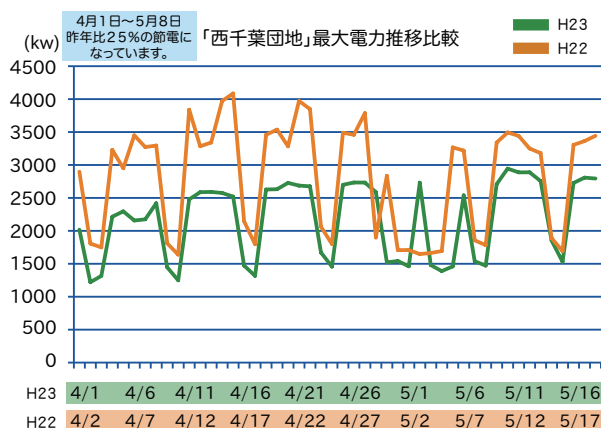


東日本大震災に対応した節電対策などの実施

2011年3月11日に発生した東日本大震災に対して、千葉大学では、大幅な節電を目指した各種対策に取り組むとともに、震災復興に向けた多様な協力活動を進めています。

大幅な節電対策の実施

千葉大学では3月からの東京電力管内の電力供給能力逼迫に対応するため、様々な節電対策を進めています。図は西千葉団地の4月1日から5月9日までの最大電力の前年との比較データで、平均して25%の削減となりました。また、西千葉地区・松戸地区の学部・大学院では、2011年度の前期に土曜日授業を行うなどして、前期を7月中旬に終了させ、夏の電力需要削減に備えました。さらに、6月中旬から大学ホームページに各キャンパスの電力消費量をリアルタイムで掲載するなど、電力消費の見える化も進めており、電力抑制15%達成を目指しています。



節電対策メニュー

ア.研究室等の空調に係る節電

- 空調を利用する場合は冷房の設定温度を28度以上とすることの徹底
- ブラインドの適切な調節
(緑のカーテン、遮光フィルム、ひさし、すだれを活用)
- 節電にも役立つクールビズの徹底、強化
- 換気風量の適正化(扇風機の導入)
- 機器を組み合わせることによる空調の効率化
- サーバー室等個別空調機器の適切な温度設定
- 冷房不要時の電源の切断

イ.研究室等の照明に係る節電

- 各作業に必要な最低基準としての照度を確保しつつ、照明の大幅な削減
- 白熱電球の原則使用停止
- 昼休みの消灯
- 授業・会議室等で退室する際の消灯

ウ.研究室等のOA機器その他の機器に係る節電

- 使用していないOA機器等の電源プラグを抜くこと等による待機電力の削減
- パソコンのディスプレイの照度を50%程度に設定、スリープモード等の活用
- プリンタ、コピー機、FAXの稼働台数の削減
- 使用する冷蔵庫及び電子レンジの数の大幅な集約化
- 電気ポット、コーヒーマーカー等の原則使用禁止
- 契約更新時または買換えにおけるエネルギー消費の少ない機器の採用

エ.教室の空調及び照明に係る節電

- 空調を利用する場合は冷房の設定温度を28度以上とすることの徹底
- 授業を行っていない教室の消灯

オ.共用部分に係る節電

- エレベーターの運転台数の削減、階段利用の促進
- 暖房便座、温水洗浄便座の停止
- 湯沸かし器の停止



節電に向けた学生主体の普及啓発活動などの実施

大学の教職員による節電対策の実施とともに、環境ISO学生委員会を中心とした学生主体の普及啓発活動が展開されています。

節電ポスタープロジェクト

震災直後に、Twitter上で展開されていた「節電広告」活動と連携して、環境ISO学生委員会のメンバーが「節電ポスタープロジェクト」を展開しました。3月14日から活動を開始し、西千葉キャンパス構内の様々な場所に節電ポスターを掲示するとともに、千葉大学周辺のお店に伺い、節電ポスター掲示と節電へのご協力をお願いして回りました。これらの活動はNHKの「クローズアップ現代」に取り上げられるなど、社会的にも注目を集めました。



一般公開されているポスター

うちわ無料配布

大学と環境ISO学生委員会が連携して、夏の節電に向けての普及啓発活動を行っています。その一環として、学生委員会がデザインした節電啓発うちわを1万本作成し、2011年6月に千葉大学3キャンパスの学生と教職員に配布しました。その結果、学内でのエアコン使用抑制が推進されています。



学内で配布したうちわ

使用電力の見える化

2011年6月より電力使用量を団地、学部、建物別にリアルタイムで学内PCから確認できるようにしました。これにより各学部は現在電力を把握することができ、設定された使用電力上限に近づいた場合、緊急の節電対策を発動し、電力使用制限の超過を防止します。

また千葉大学HP上でも西千葉団地の電力使用状況を学外公開しています。



ホームページに載せられた西千葉キャンパス電力使用状況